



光風会 恵利 いつ 議員

放射能汚染、移動を考え今後もしっかりとした監視体制を求めます

議員 放射能汚染は私たちの日常に長期にわたって存在し続ける大きな問題である。放射線測定器の精度管理、利用状況、今後の除染計画について伺う。

経済環境部長 簡易測定器は各所へ配備する前に個々の精度を確認した。少なくとも毎年1回の機器校正をする予定。昨年9月から2月末で435回の貸し出しがあり、村内2110か所を測定した。食品等を測定するべくレルモニタは、「村内で生産されたもの」を対象としていて、11月測定開始から2月

末で一般178件、学校給食109件測定した。導入当初に比べ、今はそれほど混み合っていない。除染は0.23μSV毎時を超える公共の場を除染地域に指定。研修を受けた業者が除染作業を行う。

議員 食品測定は、村民の安全確保、安心のために対象枠を広げ「村民が食べるもの」とすることはできないか。また、個人で除染した土などの処理とその費用は国か東電が負うべきと考えるが。

え、ベクレルモニタによる測定は村外で生産されたものは検査対象としない。個人が行った除染については、国に要望するともに、村としても対応を検討する。

議員 除染に関して、迅速で責任ある対応をするために専門部署を置くことと、「放射性物質の移動」を視野に入れた今後の対応を提案した。【その他 東海第二については廃炉が理想という立場に立った上で、国策として行ってきた原発事業に対する地域雇用問題等について村長に質問した。



光風会 照沼 昇 議員

東海村自治会制度の完成形

議員 合併を望まない東海村は、近隣市より優れた行政運営が求められることは言を俟ちませんが、そのためには自治会活動の充実が重要になってくる。区制度から自治会制度に移行して7年たつが、さらなる充実を図るためには目標をはっきりさせる必要があると感じている。目標とは自治会制度の理想形・完成形を言います。目標が曖昧なままでの対応は、行政・自治会共に時間と労力の浪費といえるでしょう。

議員 合併を望まない東海村は、近隣市より優れた行政運営が求められることは言を俟ちませんが、そのためには自治会活動の充実が重要になってくる。区制度から自治会制度に移行して7年たつが、さらなる充実を図るためには目標をはっきりさせる必要があると感じている。目標とは自治会制度の理想形・完成形を言います。目標が曖昧なままでの対応は、行政・自治会共に時間と労力の浪費といえるでしょう。

上位に顔を出している岩手県藤沢町を例に挙げると、長年過疎に苦しんできた藤沢町が打開策として採択したのが全職員の自治会参加でした。過疎地解消を図るために開いた地元説明会100回以上にわたる協議の結果だとのことで、その成果は素晴らしいものがあり、様々な活動で総理大臣賞等の賞状が、庁舎にずらりと並んでい

ます。その他にも多々ありますが、このように自治会制度の完成形とは自治会と行政の一体化だと思っっている。当然住民は役場職員にはなれ

ませんので、役場職員が自治会に加入すると選択しかありえないことになる。是非、協働しての自治会活動を目指していただきたいと思う。

総務部長 照沼議員からは、目標設定の重要性と自治会の完成形として様々なご提言をいただきました。ご提案については、関係課と協議するとともに自治会連合会と協議していく。

